

SIHUADON

R-108

DSPラジオ

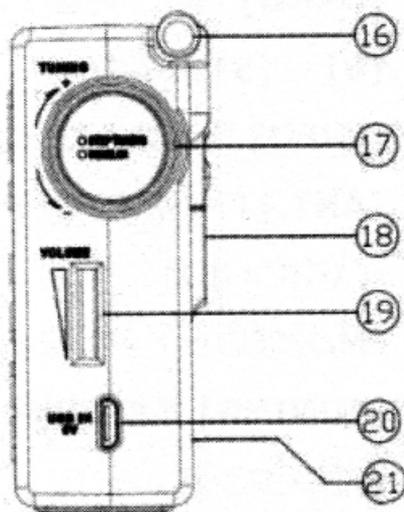
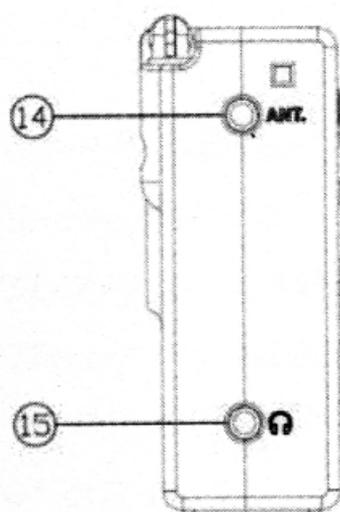
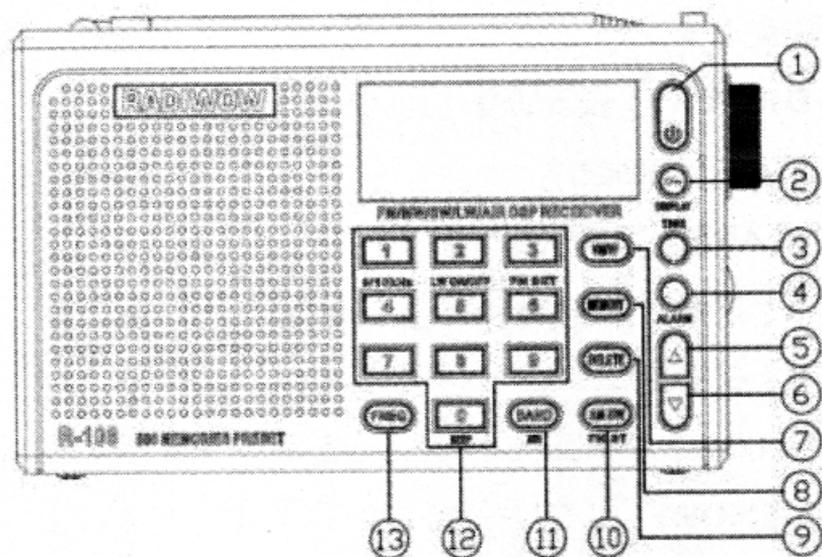
FM ステレオ / 中波 / 長波 / 短波 / エアバンド

取扱説明書



目次

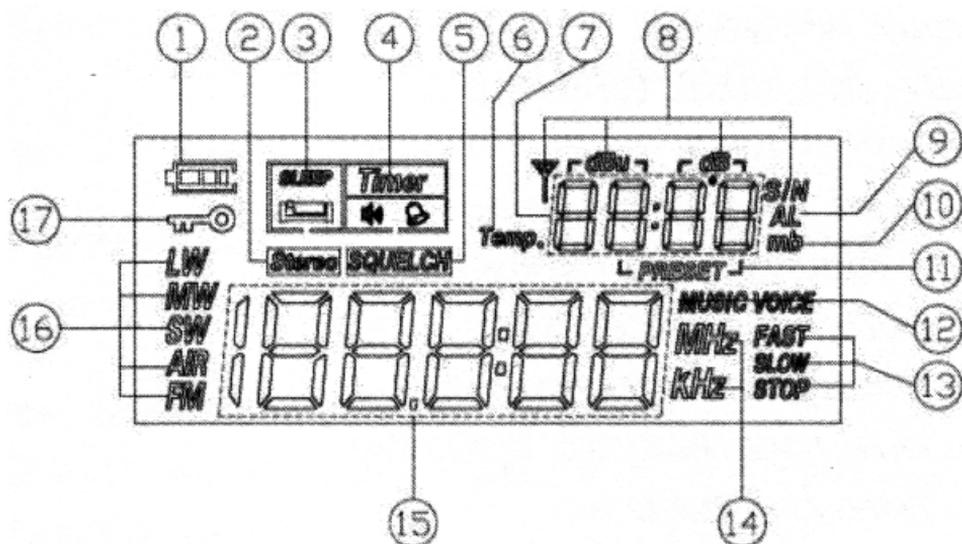
● 操作説明.....	2
● 液晶ディスプレイ	3
● クイックガイド	5
● ラジオの電源を入れる・切る	8
● 放送を選局する	9
● メモリーに記憶する	10
● メモリーに記憶された放送を聴く	12
● メモリーを削除する	12
● スリープ機能を使う	13
● 時計を設定する	14
● アラームを使う	15
● 表示を切り替える	16
● キー操作をロックする.....	16
● バックライトを使う	16
● FMステレオを聴く.....	17
● AM帯域幅を切り替える.....	17
● ラジオの設定を変える	18
● 音質の切り替え	19
● スケルチ機能.....	19
● 選局ステップを変える	20
● バッテリーを充電する	20
● FM・短波放送の受信状態を改善する	20
● トラブルシューティング	21
● バッテリーを正しく使う	23
● リセット	23
● お手入れ	23
● 仕様.....	24



● 操作説明

1. 電源ボタン
2. [DISPLAY]表示切替/ロックボタン
3. [TIME]時刻設定
4. [ALARM]アラーム設定
5. [▲]アップボタン
6. [▼]ダウンボタン
7. [VM/VF]ボタン
8. [MEMORY]メモリーボタン
9. [DELETE]削除ボタン
10. [AM BW]FMステレオ/AM帯域幅ボタン
11. [BAND]バンド切替/ATS ボタン
12. [0]~[9]数字キー
13. [FREQ]周波数入力ボタン
14. [ANT.]FMノ短波アンテナ入力
15. イヤホン出力
16. FMノ短波ロッドアンテナ
17. [TUNING]多機能選局ノスケルチダイヤル
18. 背面スタンド
19. [VOLUME]音量ツマミ
20. [USB IN 5V]DC電源入力
21. バッテリーケース

● 液晶ディスプレイ



1. バッテリー残量表示
2. [Stereo]FMステレオ表示
3. [SLEEP]スリープ表示
4. [Timer]アラーム表示
 “🕒”目覚ましラジオ
 “🔔”目覚ましブザー
5. [SQUELCH]スケルチ表示
6. [Temp.]温度表示
7. 4桁デジタル表示
 電源オフ時:時刻、アラーム設定時刻、温度計
 電源オン時:時刻、信号強度/SNR、アラーム設定時刻、温度計、メモリー番号、メーターバンド

8. [S/N]信号状態表示
[dB μ]信号強度単位
[dB]信号／雑音比(SNR)単位
9. [AL]アラーム表示
10. [mb]メーターバンド表示
11. [PRESET]メモリー番号表示
12. [MUSIC][VOICE]音質モード表示
13. [FAST][SLOW][STOP]選局ダイヤルステップ
14. [KHz]中波／長波／短波 周波数単位
[MHz]FM周波数単位
15. メインデジタル表示
電源オフ時:時刻
電源オン時:周波数、メーターバンド
16. [LW][MW][SW][AIR][FM]バンド表示
17. 操作ロック表示
 - 信号強度(単位:dB μ):受信している放送局の信号の強さを表す。数字が大きいほど聴き取り易い。
 - 信号／雑音比(SNR)(単位:dB):放送信号と雑音の強さの比を表す。数字が大きいほど聴き易い。

●クイックガイド

時計を設定する(14ページ)

表示が点滅するまで③[TIME]ボタンを押し、⑰[TUNING]ダイヤルで現在の時間「時」を設定します。

続いて③[TIME]ボタンを押し、⑰[TUNING]ダイヤルで「分」を設定します。

最後に③[TIME]ボタンで決定します。

※[TIME]ボタンが3秒以内に押されなかった場合、その設定が確定しません。

アラームを設定する(15ページ)

基本的には時計の設定方法と同様ですが、さらにアラームの継続時間も設定します。

1. 右上の時刻表示が点滅するまで④[ALARM]ボタンを押します。
2. ⑰[TUNING]ダイヤルでアラームの時刻「時」を設定します。
3. 続いて④[ALARM]ボタンを押し、⑰[TUNING]ダイヤルで「分」を設定します。
4. 次に④[ALARM]ボタンを押すと、「30」と表示されます。
⑰[TUNING]ダイヤルを回してアラームの継続時間を1~90分の範囲で設定します。
5. 最後に④[ALARM]ボタンを押して確定します。

※④[ALARM]ボタンを押すごとに目覚ましブザー、目覚ましラジオ、アラームオフが切り替わります。

放送を選局する(9ページ)

1. ①[POWER]ボタンを押してラジオをオンにします。
2. ⑪[BAND]ボタンを押して希望のバンドを選びます。
3. ⑰[TUNING](選局)ダイヤルを回すか、⑤[▲]/⑥[▼](アップ/ダウン)ボタンで選局するか、⑫数字キーで放送局の周波数を直接入力します。

補足:FMまたは短波放送を受信する際はロッドアンテナを最大まで伸ばして良好な受信状態にします。中波や長波放送を受信する際は、ラジオの向きを変えて最適な受信状態にします。⑲[VOLUME]音量ツマミを回して音量を調整できます。

自動選局メモリー(ATS)(10ページ)

FM ATS:

1. ⑯ロッドアンテナを最大まで伸ばしてから、⑪[BAND]ボタンを押してFMバンドを選びます。
2. ⑪[BAND]ボタンを長押しします。FMバンドのスキャンが始まり、受信できた放送局を順にメモリーに記憶します。
3. スキャンが停止するとATS動作は完了です。⑰[TUNING]ダイヤルを回してメモリーに記憶された放送局を選局します。

補足:ATSの操作方法は中波、長波、短波、エアバンドでも同様です。ATS動作によって、すでに記憶されているメモリーは新しく見つかった放送局に上書きされます。メモリーは各バンド毎に1~100まで記憶することができます。

メモリーに記憶する(10ページ)

バンドを選び放送局を選局します。

1. ⑧[MEMORY]ボタンを押すと”PRESET”表示が点滅を始めます。
2. ⑰[TUNING]ダイヤルを回して記憶したいメモリー番号(1~100)を選びます。
3. ⑧[MEMORY]ボタンをもう一度押すとメモリーに記憶されます。メモリーは各バンド毎に1~100まで記憶することができます。

メモリーした放送局を聴く(12ページ)

1. ⑪[BAND]ボタンを押してバンドを選びます。
2. ⑦[VM/VF]ボタンを押してメモリーモードに切り替えます。右上の⑦4桁デジタル表示がメモリーアドレスを点滅表示します。
3. ⑰[TUNING]ダイヤルを回して1~100のメモリーアドレスを選局します。

メモリーを削除する(12ページ)

1. ⑪[BAND]ボタンを押してバンドを選びます。
2. ⑦[VM/VF]ボタンを押してメモリーモードに切り替えます。
3. ⑨[DELETE]ボタンを、メモリーアドレスと”dEL”表示が点滅し始めるまで長押しします。
4. ⑰[TUNING]ダイヤルを回して削除したいメモリーアドレスを選択します。
5. もう一度⑨[DELETE]ボタンを押すと表示されているメモリーが削除されます。

メモリースキャン(12ページ)

1. ⑪[BAND]ボタンを押してバンドを選びます。
2. ⑦[VM/VF]ボタンを押してメモリーモードに切り替えます。右上の⑦4桁デジタル表示がメモリーアドレスを点滅表示します。
3. ⑤[▲]/⑥[▼]ボタンを長押しするとメモリーを順にスキャンし始めます。各メモリーアドレスを約5秒づつ受信します。
4. スキャンを停止するには、もう一度⑤[▲]/⑥[▼]ボタンを押します。

スケルチを設定する(19ページ)

1. ラジオをオンにしてバンドを選びます。
2. ⑰[TUNING]ダイヤルを長く押し込みます。[SQUELCH]が点灯しスケルチレベルが表示されます。
3. ⑰[TUNING]ダイヤルを回してスケルチレベルを選択します。
4. もう一度⑰[TUNING]ダイヤルを押して決定します。

音質を切り替える(19ページ)

1. ラジオをオンにしてバンドを選びます。
2. ⑫数字キーの[4]を長押しして音質を[MUSIC]または[VOICE]に切り替えます。

選局ステップを切り替える(20ページ)

1. ラジオをオンにしてバンドを選びます。
2. ⑰[TUNING]ダイヤルを押し込む度に選局ステップが[FAST][SLOW][STOP]の順に切り替わります。

● ラジオの電源を入れる・切る

1. ラジオ背面のバッテリーケースを開き、5C型バッテリーを1個正しい向きに入れてください。バッテリーケースを閉じます。
2. 液晶画面にバッテリーレベル、時刻等が表示されます。
3. ①[POWER]ボタンを押してラジオをオン・オフします。

補足:ラジオがオンにならない場合、バッテリーが正しく装着されているか、またバッテリーの残量が十分かどうか確認してください。またボタンがロックされている場合は、②ロックボタンを長押しして解除します

●放送を選局する

①[POWER]ボタンを押してラジオをオンにし、⑪[BAND]ボタンで希望するバンドを選びます。FMや短波放送を受信する際は良く受信できるように⑫ロッドアンテナを最大まで伸ばします。中波や長波放送を受信するときは、最適な受信状態になるようにラジオの位置や向きを変えます。⑬[VOLUME]ツマミを回して音量を調整します。好みの放送局を選局するには次の方法があります。

方法1:マニュアル選局

1. ⑦[VM/VF]ボタンを押して周波数モードに切り替えます。「ピー」という音がして[PRESET]表示が点滅します。
2. ⑭[TUNING]ダイヤルを回して放送局を選局します。

方法2:直接入力

1. ⑬[FREQ]ボタンを押します。この時「ピー」音が聞こえます。
2. ⑫数字キー[0]～[9]を使って周波数を入力します。

補足:

1. FMバンドの周波数を入れるときは少数点を無視します例えば89.3MHzは[8][9][3]と入れます。
2. 受信可能範囲外の周波数を入力した場合、エラー“Err”が表示されません。
3. 周波数は5桁で入力します。5桁に満たない場合は最初に[0]を付けるか、最後に[FREQ]を押します。

(例)6550kHzの場合

- [FREQ][0][6][5][5][0]
- [FREQ][6][5][5][0][FREQ]

●メモリーに記憶する

本体にはFM・中波・長波・短波・エアバンドそれぞれ100個メモリー、合計500個のメモリーがあります。

方法1:自動選局メモリー(ATS)

1. ⑩ロッドアンテナを最大まで伸ばし、⑪[BAND]ボタンを押してエアバンド[AIR]に切り替えます。
2. さらに⑪[BAND]ボタンを長押しすると、[PRESET]表示が点滅し自動選局動作を始めます。ラジオがスキャンを開始し、受信できた局をメモリーに記憶していきます。
3. 自動選局動作が止まるとATS動作は完了です。⑰[TUNING]ダイヤルでメモリーアドレスを切り替えて、メモリーに記憶された放送局を選局します。

中波・長波ATS

1. ⑪[BAND]ボタンを押して中波[MW]または長波[LW]バンドを選びます。
2. さらに⑪[BAND]ボタンを長押しすると、[PRESET]表示が点滅し自動選局動作を始めます。ラジオがスキャンを開始し、受信できた放送局をメモリーに記憶していきます。
3. 自動選局動作が止まるとATS動作は完了です。⑰[TUNING]ダイヤルでメモリーアドレスを切り替えて、メモリーに記憶された放送局を選局します。

短波ATS

1. ⑩ロッドアンテナを最大まで伸ばし、⑪[BAND]ボタンを押して短波[SW]バンドに切り替えます。
2. さらに⑪[BAND]ボタンを長押しすると、[PRESET]表示が点滅し自動選局動作を始めます。ラジオがスキャンを開始し、受信できた放送局をメモリーに記憶していきます。
3. 自動選局動作が止まるとATS動作は完了です。⑰[TUNING]ダイヤルでメモリーアドレスを切り替えて、メモリーに記憶された放送局を選局します。

エアバンドATS

1. ⑩ロッドアンテナを最大まで伸ばし、⑪[BAND]ボタンを押してエアバンド[AIR]に切り替えます。
2. さらに⑪[BAND]ボタンを長押しすると、[PRESET]表示が点滅し自動選局動作を始めます。ラジオがスキャンを開始し、受信できた局をメモリーに記憶していきます。

3. 自動選局動作が止まるとATS動作は完了です。⑰[TUNING]ダイヤルでメモリーアドレスを切り替えて、メモリーに記憶された局を選局します。

補足:

1. ATS動作では、FM・中波・長波・短波・エアバンドそれぞれの既存のメモリーが新しいスキャン結果で上書きされます。
2. ノイズの多い環境やATSで混変調や無音の周波数が多数メモリーに残る場合には、ロッドアンテナに触れたり、ラジオの位置や向きを変えて受信状態を改善してみてください。

方法2:手動でメモリーに記憶する

1. バンドを選び放送を選局します。
2. ⑧[MEMORY]ボタンを押すと[PRESET]表示が点滅します。
3. ⑰[TUNING]ダイヤルを回して記憶させたいメモリーアドレスを選びます。
4. もう一度⑧[MEMORY]ボタンを押すと「ピー」と音がして放送がメモリーに記憶されます。

補足:3秒以内に⑧[MEMORY]ボタンを押さないと操作はキャンセルされ、通常の動作に戻ります。

●メモリーに記憶された放送を聴く

方法1:マニュアルメモリー選局

1. ⑦[VM/VF]ボタンを押すと[PRESET]表示が現れ、メモリーモードになります。
2. ⑰[TUNING]ダイヤルを回してメモリーされた放送を選局します。

方法2:メモリースキャン

1. ⑦[VM/VF]ボタンを押すと[PRESET]表示が現れ、メモリーモードになります。
2. ⑤[▲]/⑥[▼]ボタンを長押しすると[PRESET]表示が点滅し、メモリーを順にスキャンし始めます。各メモリーを約5秒間受信します。
3. スキャンを止めるには再度⑤[▲]/⑥[▼]ボタンを押します。

補足:スキャンの後、⑨[DELETE]ボタンを押して該当のメモリーを削除することができます。

●メモリーを削除する

方法1:メモリーを一つずつ手動で削除する

1. ⑦[VM/VF]ボタンを押してメモリーモードに切り替えます。
2. ⑨[DELETE]ボタンを長押しすると、メモリーアドレスと"dEL"表示が点滅を始めます。
3. ⑰[TUNING]ダイヤルを回して削除したいメモリーを選択します。
4. もう一度⑨[DELETE]ボタンを押すと「ピー」音がして表示されたメモリーが削除されます。

補足:3秒以内に⑨[DELETE]ボタンを押さないと操作はキャンセルされ、通常の動作に戻ります。

方法2:半自動メモリー削除

1. ⑦[VM/VF]ボタンを押してメモリーモードに切り替えます。「ピー」音が聞こえます。
2. 「ピー」音がするまで⑤[▲]/⑥[▼]ボタンを長押しし、メモリースキャンを始めます。
3. ⑨[DELETE]ボタンを押すと現在受信中の周波数をメモリーから削除します。この後、他のボタンを押すまでスキャン動作を続けます。

補足:この機能はメモリー内容を整理するのに便利です。

方法3:バンド内メモリーの全消去

1. [PRESET]表示が点滅するまで⑦[VM/VF]ボタンを長押しします。
2. ⑨[DELETE]ボタンを3秒長押しすると"ALL dEL"と表示が現れます。
3. もう一度⑨[DELETE]ボタンを押すと、バンド内のメモリーがすべて消去されます。

補足:3秒以内に⑨[DELETE]ボタンを押さないと操作はキャンセルされ、通常の動作に戻ります。

●スリープ機能を使う

出荷時設定でラジオはオンしてから120分で自動的にオフします(スリープ機能)。自動オフまでの時間を設定することができます。

1. ③スリープマークが点滅するまで①[POWER]ボタンを長押しします。
2. ⑰[TUNING]ダイヤルを回して自動オフまでの時間(~120分)、あるいはスリープ解除("On")を選びます。
3. そのまま設定が適用されラジオがオンになります。

● 時計を設定する

時刻を設定する

1. 時刻表示が点滅を始めるまで③[TIME]ボタンを長押しします。
⑰[TUNING]ダイヤルを回して時刻「時」を合わせます。
2. 次に③[TIME]ボタンを押して点滅中に「分」を合わせます。
3. もう一度③[TIME]ボタンを押して時刻設定を確定します。

補足:3秒以内に③[TIME]ボタンを押さないと操作はキャンセルされま
す。

アラームをセットする

1. 時刻表示が点滅を始めるまで④[ALARM]ボタンを長押ししま
⑰[TUNING]ダイヤルを回して時刻「時」を合わせます。
2. 次に④[ALARM]ボタンを押して点滅中に「分」を合わせます
3. もう一度④[ALARM]ボタンを押すと「ピー」音がします。
⑰[TUNING]ダイヤルを回してアラームの継続時間(1~90分)を設
定します。
4. もう一度④[ALARM]ボタンを押してアラーム設定を確定します。

補足:3秒以内に④[ALARM]ボタンを押さないと操作はキャンセルされ
ます。

●アラームを使う

④[ALARM]ボタンを押す毎にブザー、ラジオ、アラーム解除が切り替わります。

1. 「ピ」音がして🔊マークが表示されると、目覚ましラジオがセットされます。
2. 「ピピ」音がして🔔マークが表示されると、ブザーによるアラームがセットされます。
3. 「ピー」音がして🔔や🔊マークが消えると、アラームは解除されます。

方法1:目覚ましラジオをセットする

目覚ましラジオを使うには、あらかじめ鳴らしたいラジオ局を記憶しておく必要があります。

1. ラジオをオンにして、希望する放送局を選局します。目覚ましで鳴らしたい音量レベルに調整します。
2. 🔊マークが点滅するまで④[ALARM]ボタンを長押しして放送局を記憶させます。
3. セットした時刻になると、ラジオは自動的にオンして記憶した放送局の受信を始めます。アラーム継続時間が過ぎると自動的にオフになります。

補足:アラーム設定時刻になるとラジオは自動的に記憶した放送局(周波数)の受信を開始します。設定時刻に他の放送を聴いている場合でも、自動的に記憶した放送局に切り替わります。

方法2:ブザーによるアラーム

地元の放送局の周波数や放送時間がわからない場合は、ブザーによるアラームをお勧めします。

1. ④[ALARM]ボタンを押して🔔が表示されるとブザーによるアラームがセットされます。
2. 設定時刻になるとラジオがオンになり「ビビビピ…」という連続音がなります。継続時間が過ぎると自動的にオフになります。

スヌーズ機能

アラームが鳴った時、①[POWER]以外のボタンを押すと一時的にアラームが解除され、5分後に再度鳴り始めます。

補足:

1. 目覚ましラジオが鳴り始めたら、①[POWER]ボタンを押してラジオをオフにできます。
2. ブザーが鳴り始めたら、①[POWER]ボタンを押して止めることができます。

●表示を切り替える

ラジオがオフの時:②[DISPLAY]ボタンを押す度に、液晶ディスプレイの右上⑦4桁デジタル表示部に、温度とアラーム設定時刻を交互に表示します。

ラジオがオンの時:②[DISPLAY]ボタンを押す度に、現在時刻、アラーム設定時刻、温度、信号強度を順に表示します。

●キー操作をロックする

1. マークが表示されるまで②[]ボタンを長押しするとキー操作が無効になります。
2. マークが消えるまで②[]ボタンを長押しするとキー操作ロックが解除されます。

●バックライトを使う

このラジオはインテリジェントバックライトを搭載しています。キーまたはダイヤルの操作をすると10秒間点灯します。

● FMステレオを聴く

1. FMステレオ放送を受信中に⑩[FM ST]ボタンを押すと、[Stereo]マークが点灯し、ステレオで聴取できます。FM放送の電波が弱い場合は⑩[FM ST]ボタンをもう一度押してステレオをオフにします。このとき[Stereo]マークが消えます。
2. FM放送がステレオ放送でない場合はステレオ機能は働きません。

● AM帯域幅を切り替える

⑩[AM BW]ボタンを押す度に帯域幅が6,4,3,2,1kHzに順に切り替わります。

広い帯域幅：信号が強い放送や地元の局を聴く際に使うと、音質が向上します。

狭い帯域幅：信号が弱い場合や遠距離受信の場合に使うと、隣接する強い放送からの混信を減らし、バックグラウンドノイズを抑制することができます。

- ラジオの設定を変える
(ラジオがオフの状態で行います)

FM放送の周波数範囲を設定する

数字キーの[6](FM SET)ボタンを長押しします。押す度にFM放送の受信周波数範囲が64.0~108MHz, 87.5~108MHz, 76.0~108MHz, 87~108MHzに切り替わります。

中波放送の周波数ステップを切り替える

数字キーの[4](9/10kHz)ボタンを長押しします。押す度に中波放送の受信周波数ステップが9kHzまたは10kHzに切り替わります。

補足: 中波放送の受信ステップを10kHzに設定すると、温度表示の単位が自動的に華氏(°F)となります9kHzのときは摂氏(°C)となります。

長波受信を有効・無効にする

数字キーの[5](LW ON/OFF)ボタンを長押しすると、“LW on”または“LW OFF”が表示され、長波受信がそれぞれ有効または無効になります。

キー操作音を有効・無効にする

数字キーの[0](BEEP)ボタンを長押しすると、“on”または“OFF”が表示され、操作時の「ピー」音が有効または無効になります。

●音質の切り替え

1. ラジオをオンにしてバンドを切り替えます。
2. 数字キーの[4]を長押しすると「ピッ、ピッ」と音が鳴り音質モードが切り替わります。
3. 音楽向けの音質モードの時は”MUSIC”と、ニュース向けの音質モードの時は、”VOICE”と表示されます。

●スケルチ機能

1. ①[POWER]ボタンでラジオをオンにして、⑩[BAND]ボタンを押して希望のバンドに切り替えます。
2. ⑰[TUNING]ダイヤルを長く押し込むと、「ピー」音が鳴り[SQUELCH]マークが表示されて、スケルチ設定モードになります。
3. ⑰[TUNING]ダイヤルを回してスケルチレベルをオフ(”OFF”)か、1～9に設定します。
4. もう一度⑰[TUNING]ダイヤルを押して設定完了です。

補足:3秒以上⑰[TUNING]ダイヤルを操作しないと自動的に現在表示されている設定が確定します。

“OFF”のときスケルチ機能は無効です。スケルチレベルは大きいほど、高いノイズレベルの音をカットします。

●選局ステップを変える

1. ラジオをオンにしてバンドを切り替えます。
2. ⑰[TUNING]ダイヤルを短く押すと「ピッ」と音がして選局ステップが切り替わります。表示される”FAST”,”SLOW”,”STOP”に以下の表のように対応します。

バンド	FAST	SLOW	STOP
FM	0.1MHz	0.01MHz	停止
長波(LW)	3kHz	1kHz	停止
中波(MW)	9/10kHz	1kHz	停止
短波(SW)	5kHz	1kHz	停止
エアバンド (AIR)	25kHz	1kHz	停止

●バッテリーを充電する

1. ラジオをオフにしてから5C型充電式バッテリーを装着します。
2. USB 5V外部アダプターをラジオに接続します。充電中は””マークがアニメーション表示されます。アニメーションが停止すると充電完了です。

●FM・短波放送の受信状態を改善する

- ⑱[ANT]端子にワイヤーアンテナを接続します。ワイヤーアンテナの一端を窓の外に掛けると、FMや短波放送の受信状態を改善することができます。

⚠注意:落雷の危険がある時は外部アンテナを使用しないでください。

●トラブルシューティング

こんな時は	原因	対処方法
ラジオがオンにならない	バッテリーが不足している	新しいバッテリーに交換する バッテリーを充電する
	バッテリーが正しく装着されていない	BL-5C型バッテリーを正しく装着し直す
	電源ボタンがロックされている	②[]ボタンを押してロックを解除する。
ラジオが勝手にオフになる	バッテリーが不足している	新しいバッテリーに交換する バッテリーを充電する
	スリープ機能が働いた	ラジオをオンにし直す
ATS で記憶されない局がある	その放送の電波が弱すぎる	手動で放送局を選局する
ATSを使うとノイズが記憶される場合がある	付近の周波数の局が混信している	アンテナを縮めたり、ラジオの位置を変えてみる

FM放送が受信できない、受信状態が悪い	FM放送範囲が合っていない	ラジオをオフにして [6](FM SET)ボタンを長押しして正しいFM放送範囲を選ぶ
AM受信状態が悪い	中波選局ステップが合っていない	ラジオをオフにして [4](9/10kHz)ボタンを長押しして正しい選局ステップを選ぶ
アラーム設定時刻になっても雑音しか聴こえない	アラーム(目覚ましラジオ)用の放送局が正しく選ばれていない	放送局を正しくセットする
	その時刻に放送されていない	放送されているか確認する
	移動先で放送が受信できない	目覚ましラジオの代わりにブザーを使う
ラジオが操作できなしい異常な動作をする	ノイズ干渉などでマイククロントローラーが正しく動作していない	一旦バッテリーを外して装着し直してみる 改善しない場合はラジオをリセットしてみる

●バッテリーを正しく使う

1. 長期間バッテリーを外している間は、時計は停止します。メモリーは保持されます。バッテリーを入れなおすと時計は動作を再開します。
2. バッテリーの充電が無くなってくると””マークが点滅し充電を促します。充電が完全に無くなるとマークの表示は消えます。
3. 長期間ラジオを使用しない場合はバッテリーを外して、液漏れ等によるラジオの故障が起きないようにしてください。

●リセット

ラジオが正しく動作しなくなった場合は、リセットを試してください。伸ばしたパーパークリップ等の細長いもので、底面のリセット穴[RESET]を軽く押して放します。

●お手入れ

1. 衝撃や落下、水濡れの無いようにします。
2. 直射日光や高温多湿を避けてください。また、液晶にダメージを与えないよう、5℃以下の低温または50℃以上の高温環境下で使用したり保管しないようにしてください。
3. 腐食性の薬品でラジオの表面を拭かないでください。
4. ラジオを分解して内部の部品を調整しないでください。

●仕様

受信周波数範囲		
FM	ロシア	64~108MHz
	日本	76~108MHz
	ヨーロッパ アメリカ	87.5~108MHz
中波		522~1620kHz
	アメリカ	520~1710kHz
長波		150~450kHz
短波		1711~29999kHz
エアバンド		118~137MHz
感度	S/N	
FM	30dB	3 μ V未満
中波	26dB	0.5mV/m未満
長波		10mV/m未満
短波		10 μ V未満
エアバンド		0.5 μ V未満

選択度		
FM	>60dB	±150kHz
中波		BW=3kHz,±9kHz
長波		BW=3kHz,±9kHz
短波		BW=3kHz,±5kHz
エアバンド		BW=3kHz,±25kHz
FMステレオ クロストーク	35dB未満	
メモリー数	最大500個	
出力	1W(歪み10%)	
アラーム種別	目覚ましラジオ／ブザー	
電源	BL-5C型バッテリー／DC 5V USB	
スピーカー	5W／4Ω	
ヘッドホン端子	3.5mmφ、ステレオ	
外形寸法	118(W)×73(H)×27(D)mm(突起部含まず)	
重量	190g(電池含まず)	
付属品	RADIWOW R-108ラジオ 外部アンテナ USB充電ケーブル BL-5Cリチウム電池 取扱説明書	

RADIWOW

Skype:radiwow

E-mail:radiwow@163.com

Facebook:RADIWOW

Web:www.radiwow.com